

令和7年度第2回 松田町地域公共交通会議 議事録

日 時 令和7年9月25日(木) 14:00~16:10

場 所 松田町役場4階4AB会議室

出席者 構成員：古館会長、山崎副会長、山本委員、井澤委員、山岸委員、澁谷委員、大館、北村委員、吉田委員、矢野委員、陶山委員、橘川委員、畑野委員（監事）、尾登委員、田中委員（代理：小澤氏）、加納委員、森下委員、廣野委員、加藤委員（代理：山崎氏）鴨下委員（代理：内川氏）田代委員、早野委員（監事）（代理：渡辺氏）、宮根委員、柳澤委員（代理：山本氏）、椎野委員、鈴木委員

欠席者：野田委員、岡部委員、松島委員、高橋正美委員、高橋和子委員、工藤委員、佐野委員、遠藤委員、鍵和田委員

事務局：政策推進課

鎌田 拓哉、島 秀明

一般社団法人 ASHIGARA ON DEMAND 蛭海 友貴

オブザーバー：

大井町参事兼企画財政課長 湯川 博之（代理 廣川氏）

開成町参事兼企画政策課長 岩本 浩二（代理 大石氏）

【議事次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 副町長あいさつ
- 4 議事
 - (1) (富士急モビリティ) 路線バスのダイヤ改正について
 - (2) 松田町A I オンデマンド交通実証実験の運行計画の見直しについて
 - (3) その他
- 5 閉会

【会議概要】

1 開会

- ・事務局より開会のあいさつ。

2 会長あいさつ

- ・お集まりいただきありがとうございます。
- ・富士急さんの減便についての皆さまの意見をお願いいたします。
- ・AI オンデマンドバス実証実験の運行計画の新たな見直しについても活発な意見をお願いいたします。

3 副町長あいさつ

- ・ご出席いただきありがとうございます。
- ・運行計画につきまして、町民の皆さまの移動手段を確保していくためにも皆様の忌憚のない意見をお願いしたいと思います。

4 議事

○会長

本日の出席状況について報告をお願いいたします。

●事務局

委員 35 名のうち 25 名出席、欠席者 10 名。傍聴はなしと報告。

※欠席者 6 名については委任状の提出あり。

(1) (富士急モビリティ) 路線バスのダイヤ改正について

○富士急モビリティ(株)

- ・富士急モビリティ(株)より、資料 1 の説明。

○会長

- ・ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、お願いします。
- ・住民説明会をお願いしたいと思うのですがいかがか。

○富士急モビリティ(株)

- ・説明会をするようにということであれば説明会はさせていただきます。

○会長

- ・説明会よろしくをお願いいたします。
- ・その他、ご意見ないようですね、説明会を開いて住民の納得を得るということといたします。

(2) 松田町 A I オンデマンド交通実証実験の運行計画の見直しについて

○一般社団法人足柄オンデマンド

- ・一般社団法人足柄オンデマンドより、資料 2 の説明。

○委員

- ・新たな運行計画ということで現存するバス、タクシーの公共交通に対しての補完的な事業と捉えている。お互いが継続的にうまく進めるようにすみ分けできるような方向で進んでいただきたい。

○会長

- ・はい。その他ございますか。

○委員

- ・運行台数がよくわからないので教えていただきたい。

○一般社団法人足柄オンデマンド

- ・基本的に3台で運行している。運行で使える車は5台あり、そのうち3台を利用する。また予備車が3台あり計8台の車両がある。

○委員

- ・富士急モビリティは今回の運行計画から外れたのか。その辺の理由含めて教えていただければ。
- ・依然、赤字が見込まれるかと思われるがその辺はどうお考えか。

○一般社団法人足柄オンデマンド

- ・富士急モビリティにつきましてはドライバー不足の話で以前から聞いており、今回の変更で土日をやめ、平日のみの運行となる平日は、ドライバー確保のハードルが高いということもあり、今回から2社でお願いするように予定している。
- ・今後の運行につきましては、当初事業として収益を得る事業として始めたところ、結果として収益が上がらない事業というのが数字としても明確になってきた。それを踏まえたうえで、本格運行にあたり行政としていくら出せるのかの協議を行っている。

○委員

- ・現状このままだったら町として受け入れられる可能性はどのラインなのか。

○委員（鈴木参事）

- ・3年間の実証実験を経て、その状況によって本格運行をやるのか、あるいは実証的な部分で行うのかということで進めてきた。地域公共交通会議で報告してきたように、町のお金に頼らず運賃収入をもって運行を継続していくことを目指していた。当時本格的な実証実験を行うために、地域公共交通会議においても協議・調整をして一般社団法人足柄オンデマンドが設立された。町からの委託金を含めて実施されてきたが令和5年度の半年間で約3,000万のマイナス。6年度の実績は3,500万のマイナスというような状況になっている。当初の目的は、町として新たな負担なしの事業として成立させていくことだったが現状、非常に厳しい状況にあるということ。町の財政状況を含めて、このマイナスの見込み額に税金を投入する効果について考えると、非常にむずかしいという考えもある。今までの運行体制、運行方法を踏まえ、令和8年度以降については実証実験のデータを活用し、新たな形態も視野に入れておく。既存のバス、タクシーのさらなる活用の方向性も含め検討を進めていきたい。一番乗っていただけのための方法を考えていきたいと考えてる。平成22年度も乗合バスの実証実験をやって、いろんなデータが出たが失敗だったと言われることもある。それをまた続けていくとこういう結果でマイナスが増えていくということもある。その中で本当に利用していただけるようなニーズのところ町としても財源を使っていきたい。実証実験は、補助金をいただくことがで

きたが、本格運行になると補助金がなくなる。そうしたことを踏まえながら、経費の削減をして、見直しもしていくことを並行に考えている。方向性が見込みが出たら報告させていただきたい。

○委員

・運行計画の見直しはいつからか。

○一般社団法人足柄オンデマンド

・話を通してから申請となるのでおおよその目安ではあるが1月、2月くらいになるのではないかと考えている。

・また、その際に今検討しているのは移行準備期間として10月末運休期間を設けようと考えている。

○委員

・移行準備期間は運行しないということか。

○一般社団法人足柄オンデマンド

・そのとおり。

○会長

・移行準備期間については今回の協議事項ではなく、次回以降の話となります。

○委員

・住民への周知はどうなるのか。

○一般社団法人足柄オンデマンド

・当社のホームページでの周知、現在登録いただいている方々への通知はできるかと思う。

●事務局

・説明会も開催させていただく。

○委員

・運休に関して手続きの確認のうえ、計画を進めていただきたい。

○委員

・定期をご購入されてる方への対応はどのようにされるのか。

○一般社団法人足柄オンデマンド

・こちらから連絡させていただき、返金対応で考えている。

○会長

・この提案自身がまだ、予告の段階で決定じゃないので足柄オンデマンドとしてはこういう計画でやりたいという話で、これを話す機会がまたあると思います。

・この件につきましては足柄広域新モビリティサービス推進協議会というものがありますので、そこで話を行う必要がございます。

・その他ご意見ないですかね。最後に鈴木参事一言お願いいたします。

○委員（鈴木参事）

・地域公共交通会議にて他の町にも承諾していただく必要がある。協議を終えて、できたものに対して実行するということがございますので、そこを一番にして、今後の見直し等を進めていく。

・町民の皆様が1番乗っていただける、ニーズがあって、そこにどういうものを、というのが1番の課題としてあり、対策していかなければならない。

○会長

- ・デマンドバスを利用していただかないと成り立っていかないものですからぜひ皆さま方の自治会に帰られて使っていくという方向をとっていただきたい。

7. 閉会

- ・副会長より閉会のあいさつ

○副会長

- ・地域住民のことを考えての提案だと思います。感謝いたします。
- ・各機関との絡みもあることでもありますので広く考えていただいて住民が過ごしやすくなるように知恵をお貸しいただければと思います。

以 上